

APEC「女性と経済サミット」参加報告



APEC
USA 2011
WOMEN AND THE ECONOMY SUMMIT



METTLER TOLEDO

BPW東京クラブ
澤田順

報告の概要

- これまでのAPEC WLN会合の歴史
- 今回のAPEC WES会合の特徴とアジェンダ
- 特にインパクトの強かったセッション
- 米国国務長官ヒラリー・クリントンのスピーチ
- サンフランシスコ宣言の骨子
- まとめと今後の日本の活動方針



これまでのAPEC WLN会合の歴史

- WLN: Women Leaders Network
- 働く女性リーダーが横のつながりを広げ、よりよい職場環境が創生できるよう、APEC国間でスタートした女性ネットワーク: 1998年フィリピンで開催された女性問題担当大臣会合にてフレームワーク策定を勧告(第1回会合)
- 政府・民間・市民団体・学者にて意見をまとめ、政府に働きかけをし、実績を積み重ね
- 2010年日本で第15回会合を開催

2011年APEC WES会合の特徴

- WES: Women and Economy Summit
- 米国国務長官ヒラリー・クリントンの強い主導により、産・官トップのコミットを推進力とする
- これまでの民間中心の「草の根」的活動を、各国政府の閣僚からのトップダウン方式に変換
- 女性の社会進出と貢献が、経済社会全体を押し上げることを強調
- 内閣府男女共同参画局ホームページに「APEC女性と経済サミット発足の経緯」掲載



- APEC WESオープニングビデオ



WES会合アジェンダ

- 9月14日
 - ワークショップ「Ease of doing business workshop on women's entrepreneurship」
 - (平行してPPWE management council開催)
 - オープニング「Changing the paradigm」
- 9月15日
 - オープニング「Driving economic growth: the path to prosperity」
 - プレナリーセッション①「Vision 2020: a road map to success」
 - プレナリーセッション②「Expanding market opportunities」
 - ランチョンディスカッション「The courage of leadership: innovation meets action policy basis」
 - 分科会「Creating empowering environments and developing young leaders」
 - レセプションにて42名の「Innovator」表彰(含日本より2名)
- 9月16日
 - 基調講演「Some leaders are born women」
 - プレナリーセッション③「Women at the top: how diverse leadership benefits everyone」
 - プレナリーセッション④「The new wave: women and innovation」
 - (平行してHLPD開催: サンフランシスコ宣言採択)
 - ランチョンディスカッション「Technology and women's entrepreneurship in APEC economies」
 - 最終プレナリーセッション「San Francisco Declaration – inclusion of women as an economic growth strategy」

会合風景



インパクトが強かったセッション

■ プレナリーセッション①「Vision 2020: a road map to success」

- モデレータ: Chris Jansing (Anchor)
- パネリスト: Mari Pangestu (Ministry of trade, Indonesia), Sheryl Sandberg (COO, Facebook), Gene Sperling (Director, National Economic Council, USA)
- 「私は遅くに家に帰って、子供の寝顔を見ると、なんてひどい母親だと罪悪感に苛まれる。夫は全くそんなことはない」



■ 分科会「Creating empowering environments and developing young leaders」

- モデレータ: Su-mei Thompson (Director, The Women Foundation, Hong Kong)
- パネリスト: Beth Brooke (Vice Chair, Ernst & Young), Amanda Ellis (Deputy Secretary, Ministry of foreign affairs, New Zealand), Tina Tchen (Director, White House council on women and girls)
- 「私の父親は、私のチャレンジを常にサポートしてくれた。それは男の子のやることだと言われたことは一度もなく、その家庭環境が今の私をつくっている」



米国国務長官ヒラリー・クリントンのスピーチ

- 圧倒的存在感とスター性
- 強い信念とそれを形にしていく実行力と影響力
- 深い知識と経験に裏打ちされたコミュニケーション力と説得力
- 基調講演「Some leaders are born women」



- 様々な調査数値・統計データをもとに、「これからの経済発展は、女性の貢献なくしてあり得ない。必ず、皆の力で、やりとげよう」という強いメッセージ



サンフランシスコ宣言の骨子

- APEC諸国は、女性の可能性を最大限に引き出すための具体的な行動を取り、経済成長に向けて女性の貢献の最大化を目指す
- このための政策の策定・実施、法律や規制の改善が各政府関係者に求められる
 - 資本へのアクセス
 - 市場へのアクセス
 - 能力・技能形成
 - 女性のリーダーシップ



- 日本では、資本・市場へのアクセスや能力・技能形成の機会は、均等に近いと思われる。今後は女性のリーダーをどう育成していくかが大きな課題

まとめと今後の日本の活動方針

- 女性の働く環境は改善しつつあるものの、未だ全体の半数を占める労働力の有効活用が出来ていないことを再認識(レベルの差はあるが、最も先進国である米国も例外ではない)
- これまでのやり方では変化のスピードが遅く、そのためにトップダウン方式に切り替え、経済効果による成果モニタリングを実施することは、改善の加速が見込めると思われる
- 日本においては、今後の活動の推進・実務をどう担当するかが課題

